

2025 年 10 月 23 日

株式会社博報堂 D Y ホールディングス

株式会社博報堂テクノロジーズ

AI エージェントの開発プロセスを刷新し、社内業務課題へ迅速に対応可能に 「CREATIVE BLOOM PLANNING」に「AI エージェントギャラリー」を追加 —博報堂 D Y ホールディングスと博報堂テクノロジーズ—

株式会社博報堂 D Y ホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：西山 泰央、以下 博報堂 D Y ホールディングス）と株式会社博報堂テクノロジーズ（東京都港区、代表取締役社長：中村 信）は、統合マーケティングプラットフォーム「CREATIVITY ENGINE BLOOM」において、AI を活用しデジタルクリエイティブ制作の支援を担う「CREATIVE BLOOM PLANNING」に、AI エージェントを迅速に開発し、利用することができる「AI エージェントギャラリー」を追加し、社内での利用を開始しました。



◆背景

近年、マーケティング業務における AI 活用が進み、現場の多様なニーズにきめ細かく、かつ迅速に対応する AI ソリューションの開発が不可欠となっています。

なかでも、パフォーマンスクリエイティブ領域※の企画業務においては高速な PDCA を求められることから、博報堂 D Y グループは、実務に即した AI 機能の検証と改善を迅速に行うことを目的に、

「CREATIVE BLOOM PLANNING」において β 版の AI エージェントを社員に提供できる環境の整備と新たな開発プロセスの構築を行いました。

※パフォーマンスクリエイティブ：配信データに基づき、クリック率やコンバージョン率などの成果を最大化するために最適化される広告クリエイティブ。

◆機能概要

「AI エージェントギャラリー」では、デジタル広告のプランニングに役立つ AI エージェント機能を、 β 版として随時実装し、社内提供していきます。

本機能の実装にあたり「CREATIVE BLOOM PLANNING」の開発プロセスを改め、これまで企画部門が要件定義を行い、開発部門に引き渡していた体制から、企画部門が AI エージェントの PoC（概念検証）までを自律的にかつ迅速に実施できる体制に整えました。これにより、企画から最短 1 日で社内ユーザーが β 版の AI エージェントを利用することも可能となります。

また、社内ユーザーの利用ログ、フィードバックは随時蓄積し、それをもとに迅速な機能改善を行

い、次の開発フェーズへとつなげてまいります。

現在、「AI エージェントギャラリー」では以下の3つのAI エージェントをβ版として提供しています。

- **市場分析 AI エージェント (β)**：調べたい商材と業界を入力すると、その商材の業界内でのポジションやマクロの経済環境などを分析し、レポートを作成します。
- **コミュニケーション分析 AI エージェント (β)**：広告キャンペーンについて、調べたい商材や業種とターゲットや結果などの情報を入力することで、過去の事例を収集・分析し、クリエイティブのヒントを提供します。
- **生活者トレンド AI エージェント (β)**：商材のターゲットとする性別・年代を入力すると、ターゲットの中で話題になっているトレンドや、商材にまつわる社会のニュースなどを表示します。

◆今後の展望

「AI エージェントギャラリー」でのPDCAサイクルを通じて、現場のニーズに応えられた機能については、「CREATIVE BLOOM PLANNING」内で正式機能として開発・実装を進めます。また、得られた知見や技術は「CREATIVITY ENGINE BLOOM」内で開発される他のプロダクト開発にも活用していきます。

今後も博報堂D Yグループの横断的なAI 推進プロジェクト（HCAI Initiative）の一環として、当社のAI スペシャリストや各領域のプロフェッショナルチームが企画・開発に携わりながら、社員一人ひとりの創造性を拡張し、クライアント企業のマーケティング活動の効率化と高度化をさらに支援するAI エージェントの開発を推進します。

◆「CREATIVE BLOOM PLANNING」とは

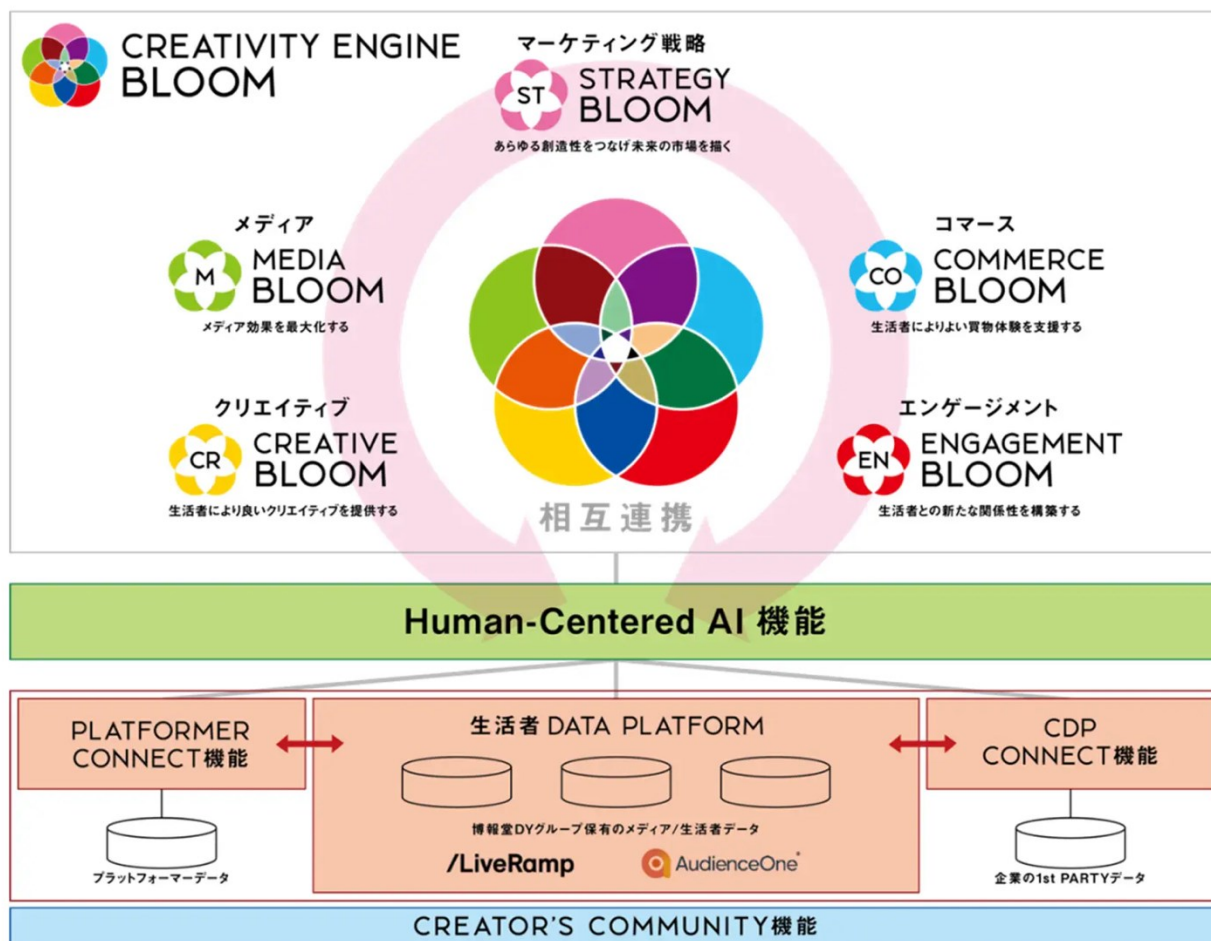
「CREATIVE BLOOM PLANNING」は、統合マーケティングプラットフォーム「CREATIVITY ENGINE BLOOM」内でデジタルクリエイティブの作成を担う「CREATIVE BLOOM」モジュールの、マーケティング戦略パートを担うプロダクトとして開発されました。生成AIを活用して「市場/商材理解」「顧客セグメント/ペルソナ生成」「訴求軸生成」「広告コピー原案生成」を高速で行い、デジタルクリエイティブの作成における作業の効率化と効果の最大化に寄与します。

【参考】「CREATIVITY ENGINE BLOOM」とは

2024年6月、博報堂D Yホールディングスは統合マーケティングプラットフォーム「CREATIVITY ENGINE BLOOM」を開発しました。

「CREATIVITY ENGINE BLOOM」は、メディアビジネスやデジタルマーケティングなどのマーケティング領域での活用はもちろん、クリエイティブ制作、販促・CRM などコマース、流通領域までをワンストップで統合・管理できる統合マーケティングプラットフォームです。博報堂D Yグループが保有する生活者DATA PLATFORMをベースにAI 技術を活用することで、利用者のクリエイティビティを

拡張し、新しいコミュニケーションサービスやビジネス創造を支援します。まずは当社グループ社員での利用を開始し、スピーディーに高度な統合マーケティングサービスの効率化と高度化を実現することでマーケティングビジネスの OM 率向上、売上総利益率の成長に貢献します。



「CREATIVITY ENGINE BLOOM」は以下の 5 つの主要モジュールと、そのモジュールを支える「生活者 DATA PLATFORM」から構成されています。

STRATEGY BLOOM：マーケティング戦略の策定を支援するモジュールで、生活者データとクライアント企業のデータを統合し、AI 技術を用いて市場構造の可視化やターゲット設定、KPI 策定の業務効率化を行います。

MEDIA BLOOM：AaaS と連携し、KPI 達成のためのメディア効果を最大化するモジュール。テレビとデジタルを組み合わせたメディア最適化やアロケーションを効率的に策定します。

CREATIVE BLOOM：クリエイティブ制作を支援するモジュールで、AI を活用してクリエイティブの評価、自動生成を行い、業務の効率化と高度化を実現します。

COMMERCE BLOOM：購買データと EC プラットフォームと連携し、リアル、EC を統合したマーケティング戦略立案を支援します。

ENGAGEMENT BLOOM：顧客との良質な関係性を構築するモジュールで、大手 SFA や MA ツールと生活者 DATA PLATFORM を連携し、顧客の LTV 向上や One to One マーケティングサービスを提供します。

「生活者 DATA PLATFORM」：博報堂 D Y グループの独自データと外部データを一元管理し、BLOOM の各プロダクトで利用可能な基盤として整備します。

「**Human-Centered AI 機能**」：統合マーケティングコミュニケーション業務の効率化と高度化を支え、利用者の Creativity をアップデートし、企業のマーケティング活動や業務プロセスを進化させる AI サービス、生成 AI を用いた AI エージェント機能を提供していきます。

<CREATIVITY ENGINE BLOOM の強み>

マーケティング業務の統合・デファクトスタンダード化

STRATEGY、MEDIA、CREATIVE 各業務を一元管理し、業務プロセスを統合・標準化することで、労働生産性を向上させます。

生成 AI 機能を用いた業務の効率化と高度化

生活者発想で培ったマーケティング業務のノウハウを生成 AI にインストールし、生活者のより深い洞察を支援することで、ターゲットプロフィールやコンセプト、クリエイティブアイデアなどのクリエイティブワーク業務において生成 AI と人間が協調するサービスを提供し、社員の創造性を高めます。

統合マーケティング効果の可視化

生活者 DATA PLATFORM データを活用し、統計技術や AI 技術(Human-Centered AI 機能)を駆使して統合マーケティング効果を測定可能な独自指標を提供します。また指標を向上させるための戦略策定や施策開発を支援するマーケティングインテリジェンス機能も提供し、得意先の事業成長へ貢献します。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 D Y ホールディングス 広報室 倉品・塚田 e-mail：koho.mail@hakuhold.co.jp

株式会社博報堂テクノロジーズ 広報担当 e-mail：hr-koho@hakuhold-technologies.co.jp